

オーストリア共和国功績勲章金賞を受章

声楽家

おかべ たけひこ
岡部 武彦さん

市内在住の岡部さんが、オーストリア共和国と日本をつなぐ数多くの交流事業や指導育成など、長年にわたる音楽関連の功績を認められ、オーストリア共和国功績勲章金賞を受章しました。
そこで、受章の感想や今後挑戦してみたいことなどをお聞きしました！

- ▶ 昭和40(1965)年 奥多摩町生まれ
- ▶ 国内の音楽大学を卒業後、高校などで音楽を教えながら、声楽家として活動する。また、オーストリア共和国ウィーンとの交流事業を開始する
- ▶ 平成6(1994)年 ウィーン国立音楽大学の声楽科に留学する
- ▶ 卒業後、バルセロナ(スペイン王国)を拠点に、声楽教授職を務めながら音楽活動をする
- ▶ 平成20(2008)年 拠点を日本に移す。現在、ウィーン国際文化協会副会長を務め、国内外での演奏会、教授職の傍ら、音楽を通じた国際交流に力を注いでいる

■今回の受章の感想をお聞かせください

現地で活躍していた諸先輩でも受章していないため、荷が重たいという気持ちがあるところですが、音楽の都オーストリアからの叙勲であり、日本ではここ数年で2名しか受章していないとのことなので、たいへん光栄に思っています。

■音楽(声楽)を始めたきっかけは何ですか

小学5年生の時、声楽専門の音楽の先生に、良い声をしているので歌わないかと誘われたことです。

また、近所のお兄さんが大音量でクラシックを聴いていたことも興味を持つきっかけになりました。

■音楽活動のなかで、印象に残っているエピソードを教えてください

現地の音楽家の友人も心の底から音楽が好きで、時間を忘れて朝まで夢中になって音楽の話をしたことがあります。

また、超一流の音楽家が学校の体育館や条件の悪い環境でも

自身の音楽だけに集中し演奏する姿勢に、いつも感銘を受けています。

一度、「リハーサルなので軽くやりましょう」と言ったら、すぐく怒られたことがあり、皆さんが音楽をとっても大切にしている気持ちに伝わってきました。

■今後、挑戦してみたいことを教えてください

「今までの活動を大切に続けること」です。人あつての活動です。で、今後は更に、若い人たちが、音楽文化の専門ではなくても、それぞれの分野で活動する際に、手助けになれるような音楽活動をしたと思っています。

昭島のおいしい深層地下水が

身体によく染み込むように、音楽文化を更に地域文化にも浸透させていきたいです。

■昭島の皆さんにメッセージをお願いします

それぞれの分野で、世界の一流に接する機会を持っていたきたいです。併せて、さまざまな分野での一流に興味を持つことも大切だと思います。

どの分野も求めている根本的なものは一緒で、国際的な視野を持つと、地域で今まで見えなかったことの発見があったり、見える幅が全く違ってきます。

それぞれの活動分野の中でぜひとも広く、ポジティブに夢を持って活動してください。

常に感謝、リスペクト、継続が大切だと思います。



▶ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団との交流コンサートで指揮をする岡部さん

岡部さん、ありがとうございます。今後のますますのご活躍をお祈りいたします!!